

広報誌で振り返る10年の歩み

第一回（平成17年～21年）

平成17年～21年の主な出来事

平成17年（2005年）

- 2月 3町1村が合併し、新「越前町」誕生
- 3月 新「越前町」の初代町長に関敬信氏が就任
- 6月 越前町誕生記念式典開催
- 10月 国民文化祭・ふくい2005の会場として様々なイベントを開催

越前町生涯学習センター・朝日多目的ホール落成

平成18年（2006年）

- 3月 越前町の「花・木・鳥・魚」が決定
- 6月 越前町コミュニティバス「フレンドリー号」の運行開始



越前町コミュニティバスの出発式

平成19年（2007年）

- 4月 フレッシュタウン・ひまわりの里（赤井谷分譲開始）
- 6月 国道417号青野鎌坂バイパスが全区間供用開始

- 7月 越前町地域防災計画を策定
- 9月 第1回越前町朝日どんこんソフトバレーボール大会を開催

12月 越前町男女共同参画宣言都市記念式典を開催

平成20年（2008年）

- 3月 飲酒運転違反者県内ワースト1を返上
- 6月 友好交流都市・アメリカ合衆国アラバマ州モンテバロ市の市長が来町



モンテバロ市長が本庁を表敬訪問

- 10月 越前町交通安全条例を施行
- 12月 越前町民指標が決定

平成21年（2009年）

- 1月 朝日中学校の新校舎が完成
- 3月 関町政の2期目がスタート
- 6月 天皇皇后両陛下が福井総合植物園プラントピア朝日をご視察



役場に立ち寄りられた天皇皇后両陛下

- 9月 鯖江・丹生消防組合消防署丹生六善が完成
町立3保育所の民営化を図るため、指定管
理者を決定

新・越前町誕生

平成17年2月、福井県内では、あわら市、南越前町につぐ市町村合併によって、当時の朝日町、宮崎村、越前町、織田町の4つの町村がひとつになり新しい越前町が誕生しました。

当時の関敬信町長が新しい町の礎となる4町村について、3つの特長を挙げています。

一つ目は同じ丹生郡に属し、行政や住民の気心がお互いに分かっている。二つ目は規模的に似かよっている。三つ目はそれぞれが異なった個性、特色を備えている。

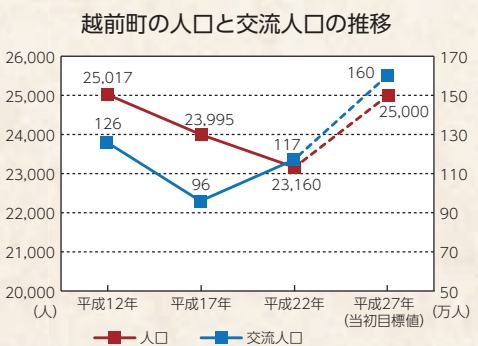
これに基づき、新町建設計画では「人と技 海土里 織りなす 快適なまち」が基本方針となりました。4つの町村が受け継いできた自然や伝統文化、地域産業を、新しい越前町と
なっても守り育てていくこと。さらに合併した町の総合的なスケールの中で、快適な住空間の創造と、文化の薫りが高いまちづくりを、推進していくことになりました。



「越前町総合振興計画」を策定

平成18年9月「越前町総合振興計画」が策定されました。これは町の最上位計画として町政の最も基本となる指針であり、町民と行政の共通の目標とされました。その中で重点目標として「人口の維持・増加」が掲げられました。そのため、町では宅地造成や地域交通網の整備などの「住環境対策」や、出産・育児支援の強化や男女共同参画社会の推進などの「少子化対策」、観光や国際交流事業の推進などの「活性化対策」を講じてきました。

しかしながら、年間の観光入込客数でみる交流人口は微増傾向にあるものの、国勢調査での人口は減少傾向に歯止めがかかっておらず、当初の目標達成は難しい状況となっています。



Interview

結婚10周年夫婦インタビュー



11月22日の「えちぜん男女共同参画のつどい」での男女共同参画都市の宣言文唱和を今年で結婚10周年を迎えたご夫婦にお願いしました。その中に「広報えちぜん」の創刊号で表紙を飾っていただいた、堤浩二さん・徳美さん夫婦がいっぱいしゃいましたので、当時のことやこの10年のことについてお話を聞きました。

Q1 入籍の日のことを教えてください。

徳美さん 婚姻届を出したのは2月3日の日曜日でした。今の宮崎コミュニティセンターのところにしました。1月の終わりに母に婚姻届を取り行ってもらったのですが、2月3日がちょうど二人とも仕事休みだったので、その日に提出しました。母からは「2月1日から越前町が合併するから、もしかしたら第一号になるかも」ということは聞いていましたが、本当になるとは思いませんでした。

浩二さん 特に狙ったわけではなく、たまたま二人の休みが合ったからという感じです。

Q2. この10年間で変わったことを教えてください。

徳美さん 二人の関係で特変わったことはありません。お互い干渉しすぎず、楽しく生活しています。

浩二さん 自分は宮崎地区から越前地区に移り住んで、最初よりは地域に溶け込んできたかなと思います。

徳美さん 私たち、結婚当初は福井市に住んでいました。そのまま福井に移住しようかと思いましたが、出産後、やっぱり越前町で育てたいと思い、地元に戻りました。だから最初は、浜に婿入りのかたちで来てもらうので、大変かなと思っていただけ、地域の皆さんが温かく迎えてくれたので、ホントに良かったなと思っています。わが子たちにもずっと越前町で暮らしてほしいなと思います。

Q3. これから10年間の目標を教えてください。

徳美さん 私たちには小学3年生と2年生の男の子2人と4歳の女の子1人の計3人の子どもがいます。今はこの3人の子どもたちを立派に育て上げることが目標です。だから、旦那のことはかまっています（笑）。

浩二さん 10年後という一番上の男の子が高校を卒業するくらいかと思っています。これが大変だと思つので、子どもたちのために頑張つて働きたいと思っています。

徳美さん 幸い二人とも両親が健在なので、いろいろとサポートしてもらって助かっています。これからも元気でいてほしいと思います。



堤浩二さん・徳美さんご夫婦

指定管理者制度を本格導入

指定管理者制度は、多様化する住民ニーズに対して、より効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理運営に民間事業者などのノウハウを活用し、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的に、従来の管理委託制度に代わり創設された制度です。

この制度が導入されたことにより、これまで公共的な団体に限られていた公の施設の管理運営を、民間事業者も含めた幅広い団体も行うことが可能になりました。従来の管理委託制度は、受託者である公の団体が設置者である町との契約に基づいて、公の施設の管理にかかる具体的な事務事業を行うもので、当該施設の管理権限および責任は町が有しており、利用許可権限（行政処分）などは委託できませんでした。しかし、指定管理者制度は、公の施設の管理に関する権限を指定管理者に委任（代行）して行わせるもので、指定管理者は、管理を幅広く代行でき、施設の利用許可権限をもち、町の承認を得て、条例の定める範囲内での料金設定や、利用料金を自らの収入とすることが可能になりました。

町では平成21年度から段階的にこの制度の活用を進め、現在、町内の公共施設のうち40施設でこの制度を導入しています。

Q4. 最後に「越前町」について感じていることがありましたら、教えてください。

浩二さん 合併して約10年経つのですが、未だに地域的な隔りがあるように思います。

徳美さん 例えば越前コミュニティセンターでやっている「魚のさばき方講座」なんかを朝日地区で開催したり、宮崎や織田地区の畑作りのコツなんかを越前地区で畑をしている人に教えてくれたりして、それぞれの地区が補い合っているようになればもっと町全体が盛り上がりそうです。それから、第一産業の大切さを体験学習などで、もっと子どもたちに教えてあげてほしいです。越前地区でいうと漁業の担い手が減って、衰退してしまつと魚屋や民宿 旅館も営業ができなくなつてしまいます。少しずつ店の灯りが消えていくのは、地元の住民にとっては寂しいです。

浩二さん 越前町には越前がにや越前焼など、全国に誇れるものがあると思うので、うまく情報発信して、地域の活性化につなげてほしいと思います。